認知症を知る



認知症

は、いろいろな原因で脳の神経細胞が減少し、覚えられなくなったり、思考力や判断力が低下したり、時間や場所、人が分からなくなったりするために、生活に支障がでてくる病気です。

加齢によるものとして見過ごされがちですが、**認知症は誰にでも起こりうる身近な脳の病気です。**

認知症の高齢者は、年々増えています。令和７年には65歳以上の高齢者のうち、５人に１人が認知症になると予測されています。



早期発見・早期対応が大切です！

治る、よくなる、進行を遅らせる認知症があります。
適切な対応で、認知症の方の心と生活を安定させます。

◇ 治る認知症・よくなる認知症

硬膜下血腫（頭を打ったなど）、脳腫瘍、正常圧水頭症などは、手術や治療でよくなる可能性があります。

◇ 進行を遅らせることができる認知症

アルツハイマー型認知症には、お薬があります。
脳梗塞や脳出血などの脳血管障害による認知症は、再発を予防することが大切です。

◇ 適切な対応が重要

認知症の本人も混乱し、不安に思っています。症状に応じた適切な対応により、症状が落ち着くことがあります。

愛媛県

認知症を知る



認知症の主な症状

認知機能の障害

病気などによって脳の細胞が壊れ、機能が失われたためにおこる症状

- **記憶障害**
  - さっき聞いたことが思い出せない
  - 覚えていたはずの記憶が失われる
- **見当識障害**
  - 日時・季節・場所などの感覚が分からなくなる
  - 道順などが分からなくなる
- **理解力・判断力の障害**
  - 考えるスピードが遅くなる
  - いつもと違うことで混乱する
- **実行機能障害**
  - 物事の計画や準備ができない
  - 簡単な機械操作ができない

行動心理症状

抑うつ、不安、幻覚・妄想・過食・迷子・徘徊・興奮など

「中核症状」に本人の性格、環境、身体状況などざまざまな要因が加わって起こる症状

例えば

大切な物を自分でしまい込み、しまったこと自体を忘れる（記憶障害）

「家族が、私の大事なものを盗んだ」と言う（もの盗られ妄想）

本人の気持ち

- 置いた場所を忘れるはずがない
- 誰かが盗んだに違いない

本人にも状況が分からず、混乱し、不安に思っています。

こんなときは、

- まずは、本人の訴えを聞き、否定しない。
- 一緒に探す。普段から物をしまう場所を確認しておき、それとなく本人が見つけられるようにする。
- 見つからない場合は、お茶に誘うなど、気分転換するのもひとつの方法です。

こうした妄想は、最も身近で介護している人に向けられることが多いので、周囲の人が理解して介護者を支えることが大切です。

愛媛県

認知症の早期発見

あなたのまわりに、気がかりな高齢者はいませんか？

- □ 時間や場所の感覚が不確かになった
- □ 慣れた道でも迷う
- □ 病院からもらった薬の管理ができない
- □ 最近、身だしなみに気を使わなくなった
- □ 同じことを何度も言ったり、聞いたりする
- □ 今まで簡単にできていたことができなくなった
- □ よく探し物をしたり、盗られたと人を疑う



物忘れと認知症との違い

加齢によるもの忘れ	認知症の記憶障害
● 経験したことが部分的に思い出せない	● 経験したこと全体を忘れている
● 何を食べたか思い出せない	● 食べたこと自体を忘れている
● 物の置き場所を思い出せないことがある	● 置き忘れ・紛失が頻繁になる
● 物覚えがわるくなったように感じる	● 数分前の記憶が残らない
● 曜日や日付を間違えることがある	● 月や季節を間違うことがある
● もの忘れを自覚している	● もの忘れの自覚に乏しい
● 日常生活にはあまり支障がない	● 分からないことやできないことが増え、日常生活に支障がでる

～ご活用ください～

「認知症ケアパス」（各市町）

　それぞれの市町における、医療や介護サービスの提供の流れについて、認知症の症状・進行に合わせて、分かりやすくまとめたものです。
詳しくは、各市町地域包括支援センターへお問合せください。

愛媛県

令和8年9月